



ジャミーラの青いスカーフ

カーン作 もりうちすみこ訳 さ・え・ら書房

いつも青いスカーフを巻き、顔を隠しているジャミーラ。
「もし、自分が美しくないとと思ったら、少なくともよい人間になるようにしなくちゃいけないよ。そうすれば、人はきつとみとめてくれるから」と母は言っていた。その母が死に、自分勝手な父や意地悪な継母に翻弄され、ジャミーラは帰る場所すら失ってしまつた。だが孤児院で待つていたのは、文字の習得という新たな世界だった。
信仰と母の思い出を胸に、アフガニスタンで懸命に人生を切り開いていく少女の物語。

